

# ドイツ・グローバルREIT投信（通貨選択型）

円コース（年2回決算型）／米ドルコース（年2回決算型）  
 ／豪ドルコース（年2回決算型）／ブラジルリアルコース（年2回決算型）  
 ／南アフリカランドコース（年2回決算型）／中国元コース（年2回決算型）  
 ／マネープールファンド（年2回決算型）

交付運用報告書 各ファンド（マネープールファンドを除きます）：追加型投信／内外／不動産投信  
 マネープールファンド：追加型投信／国内／債券  
 第28期（決算日：2023年12月15日） 作成対象期間（2023年6月16日～2023年12月15日）

## 第28期末（2023年12月15日）

	円コース（年2回決算型）	米ドルコース（年2回決算型）	豪ドルコース（年2回決算型）	ブラジルリアルコース（年2回決算型）
基準価額	20,375円	37,639円	28,842円	28,118円
純資産総額	426百万円	1,110百万円	168百万円	323百万円

## 第28期（2023年6月16日～2023年12月15日）

騰落率	2.5%	9.3%	4.8%	9.5%
分配金合計	0円	0円	0円	0円

## 第28期末（2023年12月15日）

	南アフリカランドコース（年2回決算型）	中国元コース（年2回決算型）	マネープールファンド（年2回決算型）
基準価額	25,802円	43,116円	9,960円
純資産総額	36百万円	41百万円	1百万円

## 第28期（2023年6月16日～2023年12月15日）

騰落率	7.2%	9.9%	△0.0%
分配金合計	0円	0円	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## ■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ドイツ・グローバルREIT投信（通貨選択型）（年2回決算型）」は、2023年12月15日に第28期の決算を行いました。各ファンド（マネープールファンドを除きます。）は、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「ファンド情報」→「ファンド関連情報」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。
- ※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社  
 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/ja-jp/>

\*お取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 【円コース（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：19,887円

第28期末：20,375円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：2.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続きました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。ただし、為替ヘッジに伴うコストは基準価額の上昇を抑制する要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	114円	0.594%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は19,190円です。
（投 信 会 社）	（ 58）	（0.303）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 53）	（0.275）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 3）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	10 （ 10）	0.051 （0.051）	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	124	0.645	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

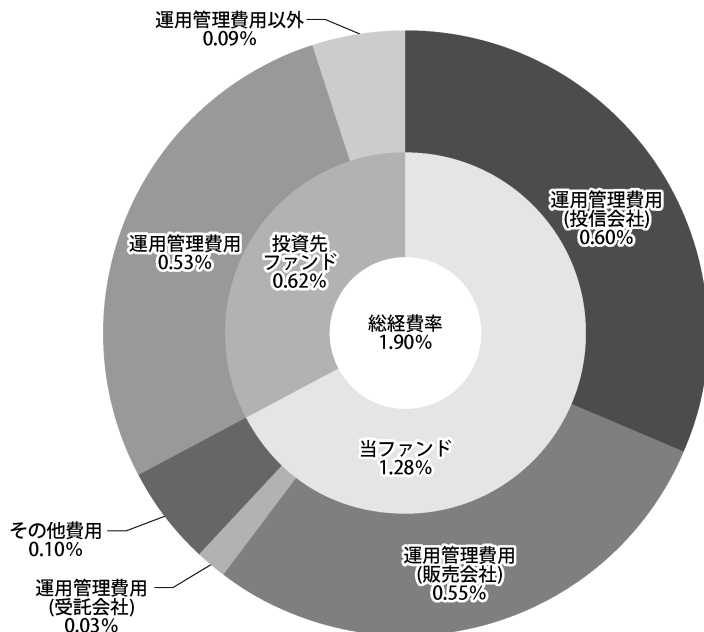
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

**（参考情報）**

○**総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	19,483	21,936	19,796	26,218	20,610	20,375
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.6	△9.8	32.4	△21.4	△1.1
純資産総額 (百万円)	405	489	694	744	586	426

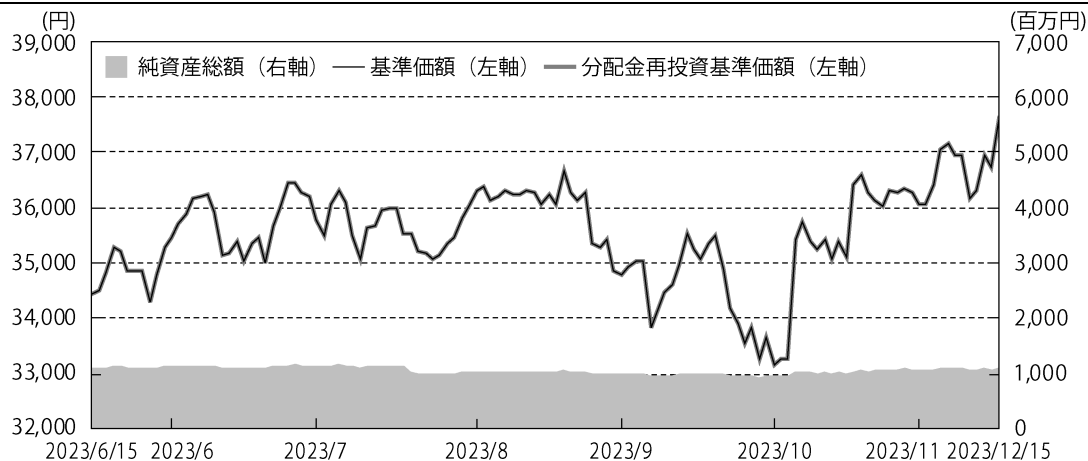
●当ファンドは、DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（円）及びドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### 【米ドルコース（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：34,442円

第28期末：37,639円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：9.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続きました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。また、為替相場で米ドル高円安が進んだことも基準価額を押し上げる要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	209円	0.594%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は35,258円です。
（投 信 会 社）	(107)	(0.303)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	( 97)	(0.275)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	( 6)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	18 ( 18)	0.050 (0.050)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	227	0.644	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

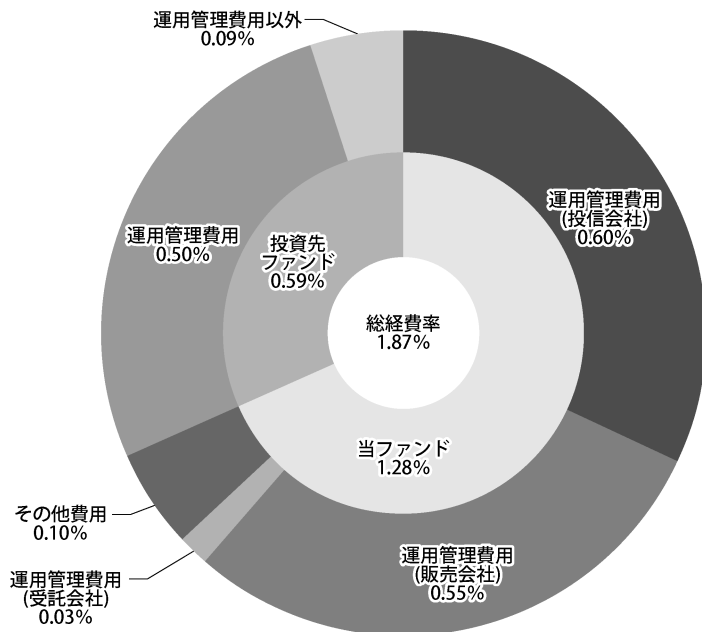
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

**（参考情報）**

○**総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.50
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	24,497	27,279	24,182	34,992	33,680	37,639
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.4	△11.4	44.7	△3.7	11.8
純資産総額 (百万円)	539	964	516	709	1,033	1,110

●当ファンドは、DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（米ドル）及びドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### 【豪ドルコース（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：27,509円

第28期末：28,842円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：4.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続ききました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。一方、為替相場では豪ドル円相場が前期末とほぼ変わらない水準で着地したことから、基準価額への影響は限定的でした。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	160円	0.594%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は26,921円です。
（投 信 会 社）	（ 81）	（0.303）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 74）	（0.275）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 4）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	14 （ 14）	0.050 （0.050）	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	174	0.644	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

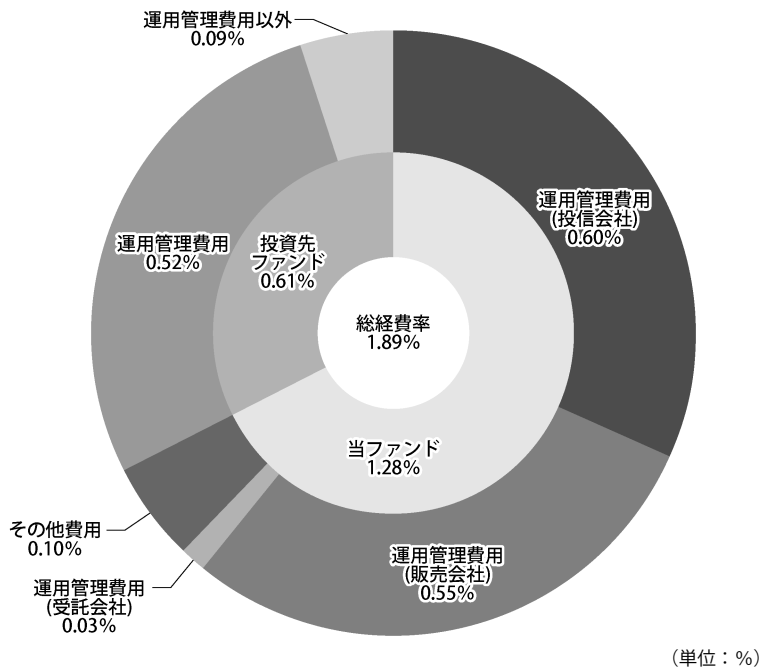
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

**（参考情報）**

○**総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率(①+②+③)	1.89
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	22,828	23,983	22,384	30,391	27,487	28,842
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.1	△6.7	35.8	△9.6	4.9
純資産総額 (百万円)	143	158	133	178	159	168

●当ファンドは、DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（豪ドル）及びドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### 【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：25,687円

第28期末：28,118円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：9.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続きました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。また、為替相場でブラジルリアル高円安が進んだことも基準価額を押し上げる要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	157円	0.594%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は26,466円です。
（投 信 会 社）	（ 80）	（0.303）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 73）	（0.275）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 4）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	13 （ 13）	0.051 （0.051）	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	170	0.645	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

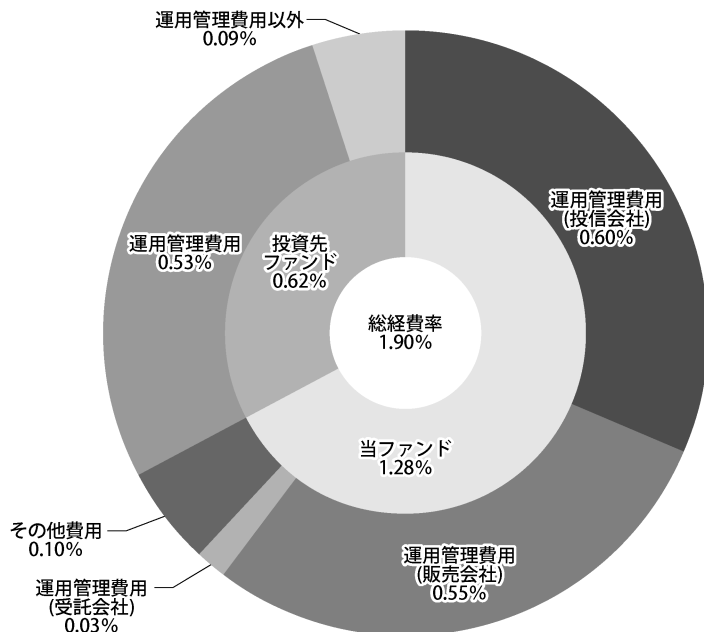
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	19,897	21,462	15,188	20,290	22,441	28,118
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.9	△29.2	33.6	10.6	25.3
純資産総額 (百万円)	445	524	303	318	375	323

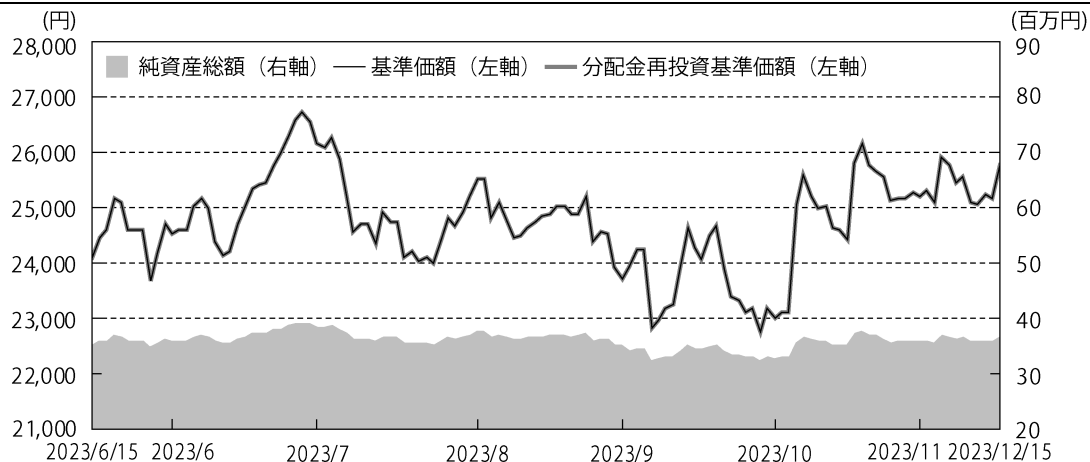
●当ファンドは、DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（ブラジルリアル）及びドイツェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### 【南アフリカランドコース（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：24,072円

第28期末：25,802円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：7.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続きました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。また、為替相場で南アフリカランド高円安が進んだことも基準価額を押し上げる要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	147円	0.594%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は24,690円です。
（投 信 会 社）	（ 75）	（0.303）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 68）	（0.275）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 4）	（0.016）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	12 （ 12）	0.050 （0.050）	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	159	0.644	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

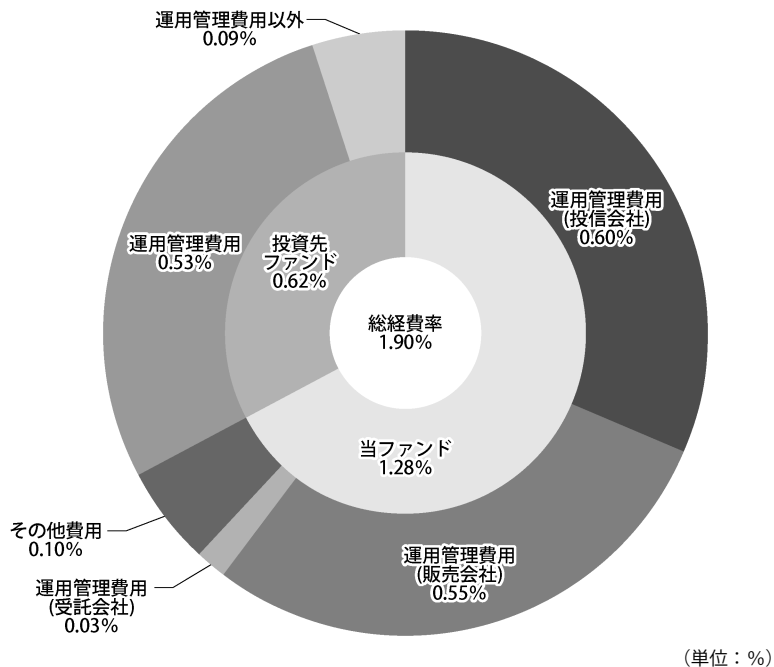
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



総経費率(①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注）投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	19,337	21,923	18,834	26,913	24,828	25,802
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	13.4	△14.1	42.9	△7.7	3.9
純資産総額 (百万円)	11	13	11	19	33	36

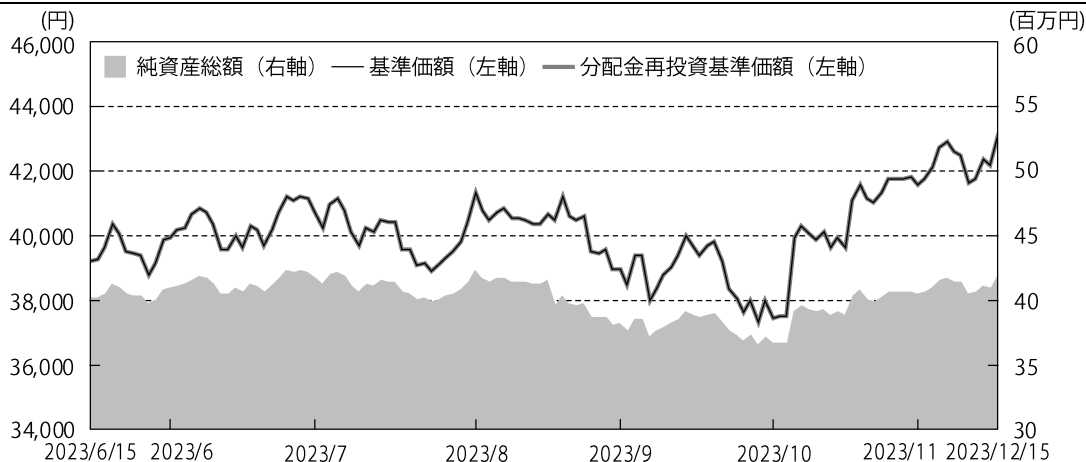
- 当ファンドは、DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（南アフリカランド）及びドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### 【中国元コース（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：39,217円

第28期末：43,116円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：9.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続きました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。また、為替相場で中国元高円安が進んだことも基準価額を押し上げる要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	237円	0.594%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は39,976円です。
（投 信 会 社）	(121)	(0.303)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	(110)	(0.275)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	( 7)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	20 ( 20)	0.050 (0.050)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	257	0.644	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

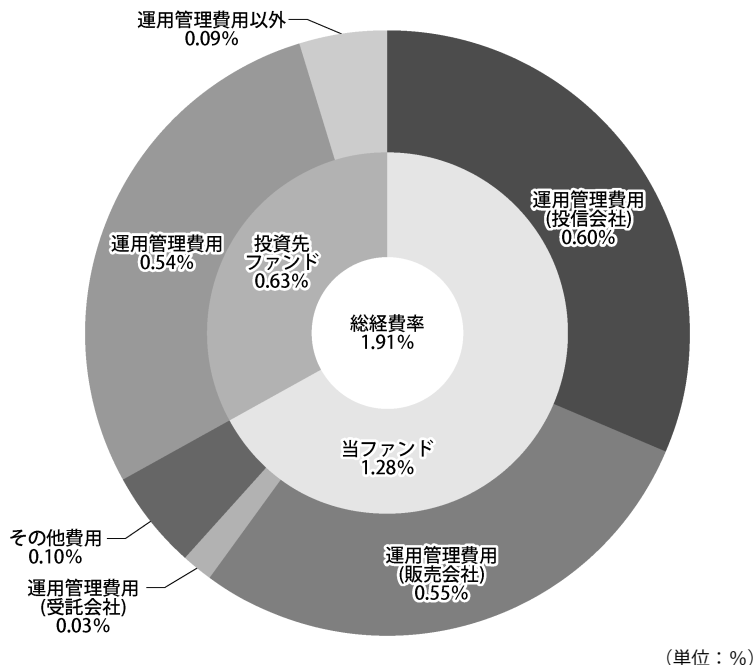
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

**（参考情報）**

○**総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには、表記した運用管理費用以外の費用がある場合があり、上記に含まれないことがあります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	26,876	29,564	28,473	43,533	39,778	43,116
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.0	△3.7	52.9	△8.6	8.4
純資産総額 (百万円)	25	26	16	1,102	40	41

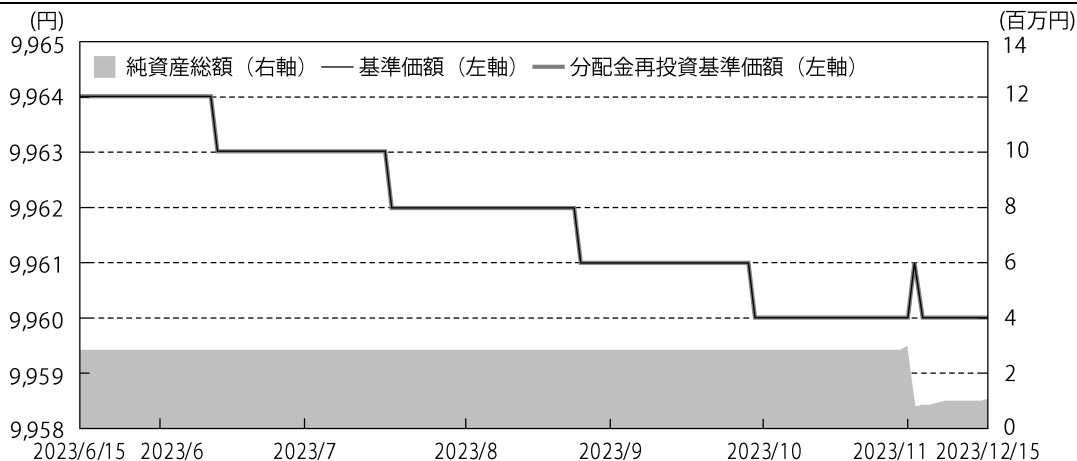
●当ファンドは、DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（中国元）及びドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

### 【マネープールファンド（年2回決算型）】

#### ■基準価額等の推移について

（2023年6月16日～2023年12月15日）



第28期首：9,964円

第28期末：9,960円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△0.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

#### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いました。日本銀行によるマイナス金利付き量的・質的金融緩和実施の影響により基準価額は安定した動きとなりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2023年6月16日～2023年12月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	0円	0.003%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,961円です。
（投 信 会 社）	(0)	(0.001)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.001)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
合 計	0	0.003	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

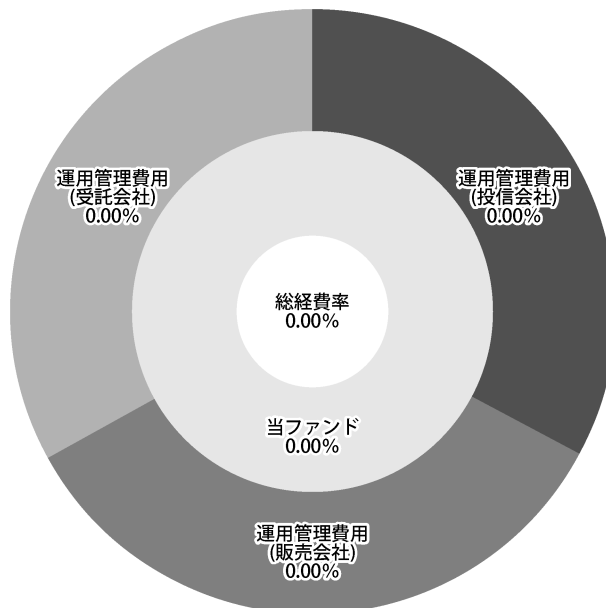
(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）**

○**総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

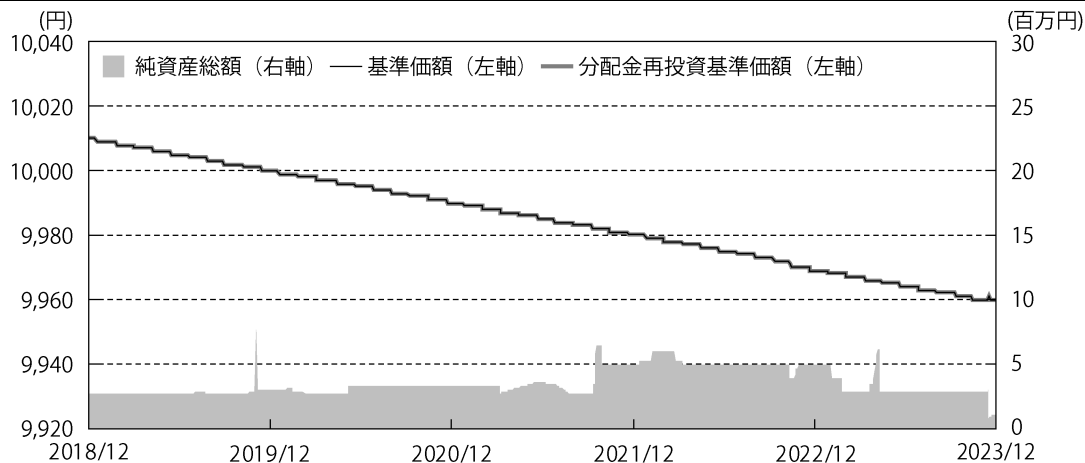
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年12月17日～2023年12月15日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年12月17日	2019年12月16日	2020年12月15日	2021年12月15日	2022年12月15日	2023年12月15日
基準価額 (円)	10,010	10,000	9,990	9,980	9,969	9,960
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△0.1	△0.1	△0.1	△0.1	△0.1
純資産総額 (百万円)	2	2	3	4	4	1

●当ファンドでは、ドイツェ・円・マネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、主に円建の公社債及び短期有価証券等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## ■投資環境について

（2023年6月16日～2023年12月15日）

### （当期の世界REIT市場）

世界の不動産投信（REIT）市場でREIT証券価格は上昇しました。2023年10月下旬までは、米金融当局のタカ派スタンスなどを受けて長期金利が大きく上昇したことが嫌気され軟調な展開が続きました。しかしその後、インフレの鈍化や景気減速を示すデータを受けて追加利上げ観測が後退すると、長期金利が急速に低下し、これを受けてREIT市場は大きく反発し期末を迎えました。地域別では、期末にかけて各国の長期金利が大きく低下したこと等が好感された大陸欧州の大幅な上昇が目立ちました。一方で、中国経済の先行き不安等が逆風となった香港市場は軟調な推移が続きました。セクター別では、オフィスセクターの好パフォーマンスが目立ちました。

### （当期の為替市場）

為替市場では、各国の金融政策を巡る思惑が交錯し金利差にも反映されるなか、方向感の乏しい展開となりましたが、前期末比では主要通貨に対して総じて小幅な円安となりました。

## ■当該投資信託のポートフォリオについて

（2023年6月16日～2023年12月15日）

### 【円コース】／【米ドルコース】／【豪ドルコース】／【ブラジルリアルコース】／ 【南アフリカランドコース】／【中国元コース】

各ファンドでは、当初の運用方針通り、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

### 【マネープールファンド】

当ファンドでは、当初の運用方針通り、主としてドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いました。

### （DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド）

各銘柄固有の要因に加え、景気や金利動向による業績への影響なども考慮して銘柄の入れ替えを行いました。全体としては、バリュエーションや成長機会に着目しながら、質の高い資産やビジネスモデル、経営陣を有し、需給環境が良好な領域で事業を展開する銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

### （ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド）

当初の運用方針通り、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いました。

## ■ベンチマークとの差異について

（2023年6月16日～2023年12月15日）

各ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■分配金について

### 【円コース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

#### 【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	19,178

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

### 【米ドルコース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

#### 【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	27,639

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

### 【豪ドルコース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

#### 【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	25,764

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

### 【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

#### 【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	36,785

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。



**【南アフリカランドコース（年2回決算型）】**

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

**【分配原資の内訳】**

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	34,549

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

**【中国元コース（年2回決算型）】**

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

**【分配原資の内訳】**

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	33,116

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

### 【マネープールファンド（年2回決算型）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

#### 【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2023年6月16日～2023年12月15日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	58

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 【円コース】／【米ドルコース】／【豪ドルコース】／【ブラジルリアルコース】／【南アフリカランドコース】／【中国元コース】

各ファンドでは、引き続き当初の運用方針通り、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

### 【マネーボールファンド】

当ファンドでは、引き続き当初の運用方針通り、主としてドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。

### （DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド）

米国経済が軟着陸に向かうとの期待が高まっていますが、当社では2024年に向けて引き続きやや慎重な見方をしています。米議会は2024会計年度の予算を成立させる必要があり、米国の大統領選も控えていること等から、政治的なパフォーマンスが増えると予想されます。各国中央銀行はインフレの退治から経済の下支えに方針を転換すると考えられますが、利下げの開始時期については未だ議論の余地があると考えています。

米国では、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ終了がマーケットで織り込まれ、商業用不動産の見通しが安定化しています。米10年国債の利回りはピークを越えたと考えられ、2024年後半のファンダメンタルズの成長見通しは良好です。資本コストが依然として高いことや、売り手と買い手の間に価格のスプレッドがあることから実物市場での取引は低迷しており、不動産価格の更なる下落の可能性があると考えています。銀行の融資態度は依然として厳しいものの、上場REITは資本市場へのアクセスが容易なこと等から優位性があります。多くの市場でファンダメンタルズが軟化していますが、コスト圧力の緩和や供給の減少等から、2024年には改善を見込んでいます。今後は2四半期連続での経済成長の減速を予想しているため、短期的にややディフェンシブなポートフォリオを構築する方針ですが、FRBの引き締めサイクルの終了と収益見通しの改善は2024年に向けて投資判断の重要な材料になると考えられます。

データセンターセクターについては、価格決定力の改善や供給の減少、AIの発展等が今後の成長ドライバーになると期待され強気な見方をしています。物流セクターについては、底堅い需要と賃料成長の減速の両方を加味して中立の見方をしています。住宅セクターについては、供給の増加により集合住宅のファンダメンタルズが減速していますが、戸建て住宅や工業化住宅に対しては新規供給が限定的なこと等から強気な見方をしています。リテールセクターと郊外型モールセクターについては、消費が軟調なことや米国の学生ローンの支払い再開が逆風になると考えられること等から、弱気な見方をしています。

欧州では、総合ベースでのインフレ率に正常化の兆しが見えるものの依然として高水準です。金利の急上昇が上場REITのバリュエーションを圧迫しており、代表的なバリュエーション指標では大幅に割安な水準となっています。金利の水準が期待値に近づくなかで、ディスカウント率は縮小していくと考えられます。ポジティブな点は、欧州の賃貸契約では賃料がインフレ率に連動する場合が多く、賃料上昇率が加速していることです。これにより、実質金利が低水準な中で不動産の期待リターンが相対的に魅力のある水準となっています。このような環境の中で、当社では、負債比率が平均よりも低い企業等を選好しています。英国では、学生寮やライフサイエンス施設の他、需給バランスが良好で高品質な資産を持つ都市部の物流施設等、景気感応度の低い銘柄への投資を継続します。大陸欧州では、限られ

た銘柄にのみ投資する方針で、引き続きリテールセクターや住宅セクター、オフィスセクターに対し慎重な見方をしています。

アジア市場の中で、香港については、中国経済の改善が見られないことから上場REIT市場の先行き不透明感が高まっています。オフィスセクターについては、特に都心部以外の地域に対し引き続き弱気な見方をしており、今後の供給が増加する見通しであること等から回復に時間がかかる見込みです。リテールセクターでは、賃料が改善してきており、小売売上高も回復が続く見込みです。香港市場は、全般的に厳しい環境ではありますが、バリュエーションは割安な水準となっています。シンガポールでは、商業用不動産市場の見通しは引き続き良好ですが、市場の回復ペースは鈍化してきています。オフィス市場については、新築オフィスの竣工が遅れているため供給が少なくなっているものの、経済の減速により市場の回復は緩やかになっています。経済活動の再開や供給の少なさを背景に、リテールセクターをオフィスセクターよりも強気に見ています。物流セクターは成長するEコマース市場へのエクスポージャーを取ることができる点が魅力的です。ホテル等のホスピタリティ産業は、引き続き経済活動の再開による恩恵を受ける見込みです。日本では、オフィスの空室率がピークアウトしていますが、2025年には供給の増加が予想されるため、回復局面は短期的なものになると考えています。リテールセクターやホテルセクターは経済再開の恩恵を受けており、物流セクターは引き続き、長期的な視点では追い風を受けていますが、短期的には供給の増加により空室率が高まっています。

全体としては、バリュエーションや成長機会に目を向けた銘柄選択の重要性が高まっていくと考えられ、質の高い資産やビジネスモデル、経営陣を有し、需給環境が良好な領域で事業を展開する銘柄を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

### （通貨見通し）

米国では2024年以降景気後退に陥る可能性が残り、FRBは2024年後半にも利下げを開始すると予想されています。一方、日本では日銀が2024年にはイールドカーブコントロール（YCC）の撤廃やマイナス金利の解除を決定するとの見方が台頭しており、今後日米金利差が縮小方向に向かうと見込まれることから、これまでの米ドル高・円安傾向は修正されると思われます。豪ドルについては、高金利政策の継続が下支えになると予想されます。また、資源価格の動向や経済的な結びつきの強い中国の景気動向などに左右される展開が想定されます。ブラジルリアルに関しては、相対的に高い金利水準がサポート材料になると見えています。一方で、財政政策運営への不透明感や、中国の景気減速懸念は重石になると見られます。南アフリカランドは、電力不足問題の改善期待が下支えとなる見通しです。一方で、中国経済の減速リスクや中東情勢は南アフリカランドの重石となると見られます。中国元については、不動産市場の低迷や景気回復の遅れ等が中国元安要因になると見えています。一方、景気対策や、当局が大幅な中国元安は容認せず中国元安抑制に向けた取り組みを強化すると期待されること等が下支えになると考えています。

### （ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド）

当ファンドでは、引き続き当初の運用方針通り、主に円建の公社債及び短期有価証券等への投資を通じて、安定した収益と流動性の確保を目的とした運用を行います。

信用力及び流動性の高いポートフォリオ運用を行うため、短期金融市場や国債市場の動向を踏まえ組み入れを行う方針です。

## お知らせ

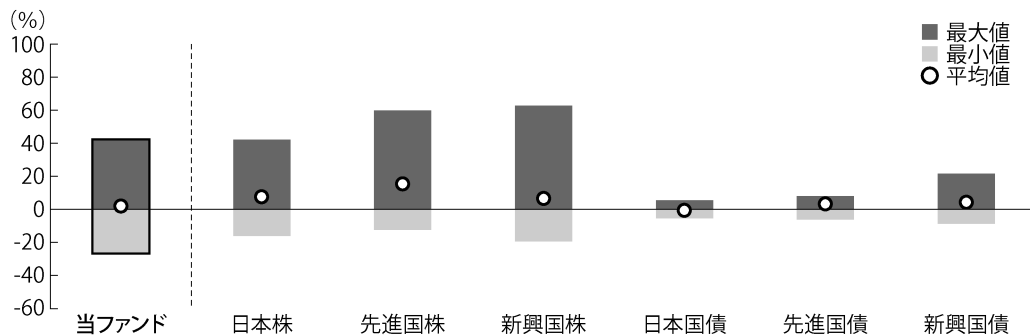
2023年9月16日に、円コース（年2回決算型）、米ドルコース（年2回決算型）、豪ドルコース（年2回決算型）およびブラジルリアルコース（年2回決算型）の信託期間を2029年12月10日までとするため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

## 当ファンドの概要

商品分類	<p>●各ファンド（マネープールファンドを除きます）：追加型投信／内外／不動産投信                  ●マネープールファンド：追加型投信／国内／債券</p>											
信託期間	<p>&lt;南アフリカランドコース／マネープールファンド&gt;                  2009年12月18日から2024年12月10日まで                  &lt;中国元コース&gt;                  2010年3月10日から2024年12月10日まで                  &lt;円コース／米ドルコース／豪ドルコース／ブラジルリアルコース&gt;                  2009年12月18日から2029年12月10日まで</p>											
運用方針	<p>信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。</p>											
主要投資対象	各ファンド（マネープールファンドを除きます）	<p>原則として、ルクセンブルグ籍外国投資信託証券DWS R R E E F グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド及びドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券に投資を行うことを基本とします。</p>										
	マネープールファンド	<p>ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p>										
	DWS R R E E F グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド	<p>日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とします。</p>										
	ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	<p>主に円建の公社債及び短期有価証券等を主要投資対象とします。</p>										
運用方法	<p>主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券等を主要投資対象とし信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。</p> <p>&lt;豪ドルコース／ブラジルリアルコース／南アフリカランドコース／中国元コース&gt;では、実質的な保有外貨建資産に対して原則として当該通貨売り、以下の通貨買いの為替取引を行うルクセンブルグ籍外国投資信託証券 DWS R R E E F グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンドに投資を行います。</p> <table border="1" data-bbox="314 999 1055 1056"> <thead> <tr> <th>豪ドルコース</th> <th>ブラジルリアルコース</th> <th>南アフリカランドコース</th> <th>中国元コース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豪ドル</td> <td>ブラジルリアル</td> <td>南アフリカランド</td> <td>中国元</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、&lt;円コース&gt;では、実質的な保有外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行う投資信託証券に投資を行います。&lt;米ドルコース&gt;では、原則として実質的に米ドル建資産を保有する投資信託証券に投資を行います。</p> <p>また、各ファンドはドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドにも投資を行います。</p>				豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース	中国元コース	豪ドル	ブラジルリアル	南アフリカランド	中国元
	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース	中国元コース								
豪ドル	ブラジルリアル	南アフリカランド	中国元									
分配方針	<p>毎決算時（原則として、毎年6月15日及び12月15日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、原則として、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>											

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2018年12月末～2023年11月末）

### 【円コース（年2回決算型）】



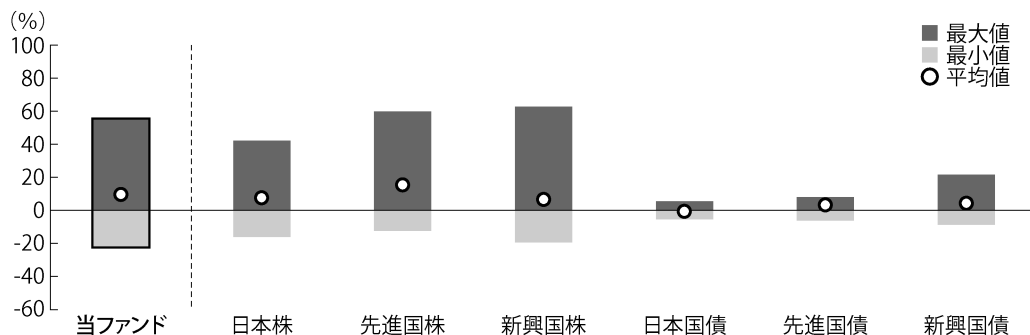
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.0	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	42.4	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△26.8	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

### 【米ドルコース（年2回決算型）】



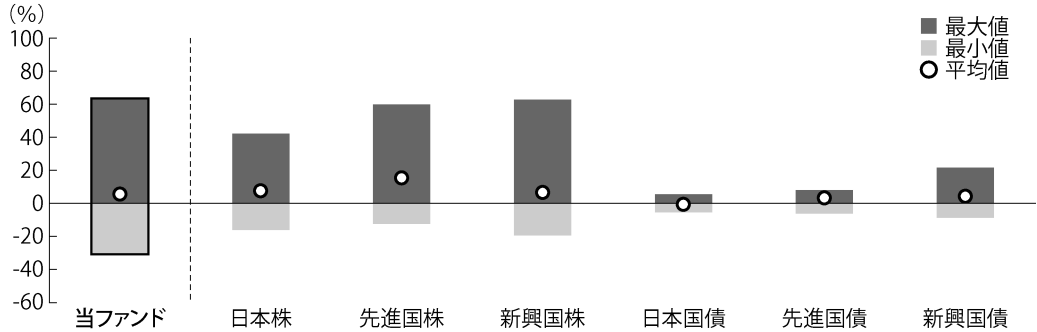
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.6	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	55.5	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△22.4	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

## 【豪ドルコース（年2回決算型）】



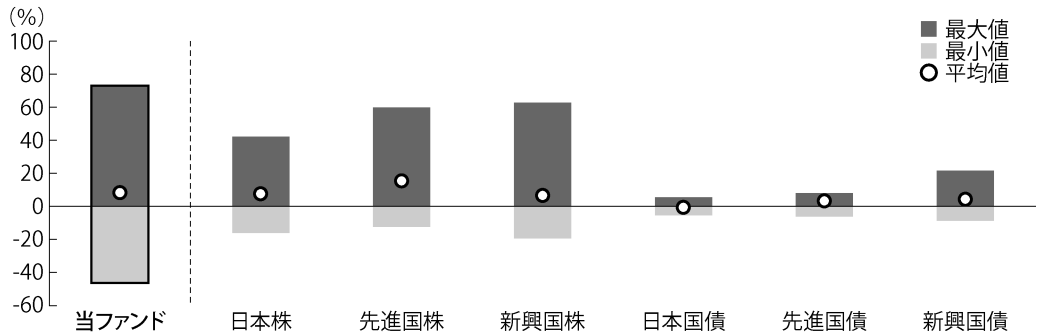
（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.6	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	63.4	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△30.9	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当該ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

## 【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】



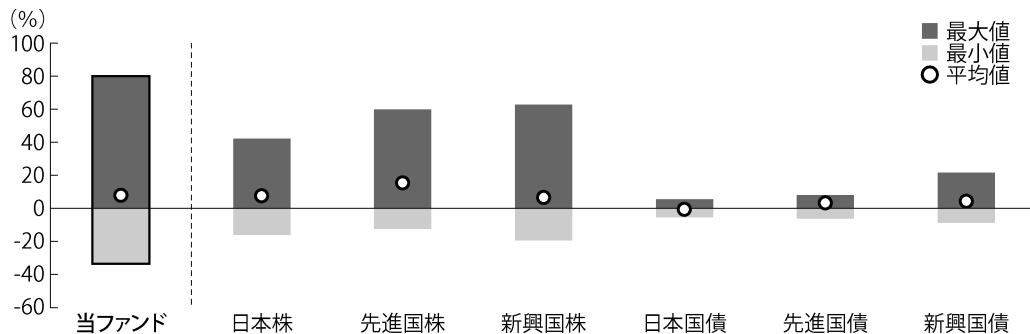
（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.3	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	73.0	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△46.4	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当該ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

## 【南アフリカランドコース（年2回決算型）】



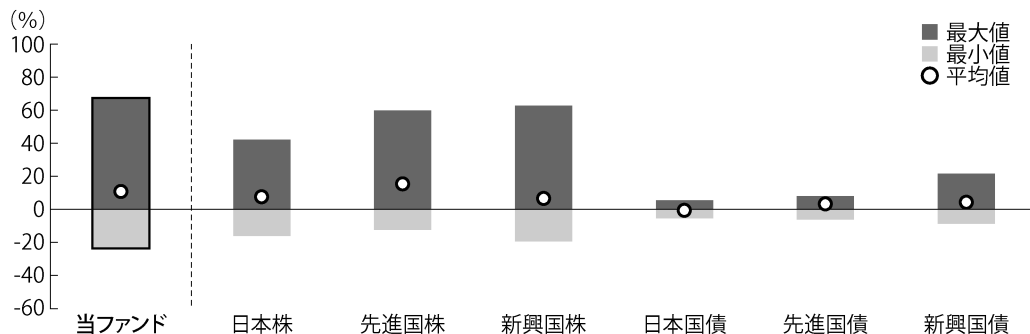
（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	7.9	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	80.0	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△33.5	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当該ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

## 【中国元コース（年2回決算型）】



（当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

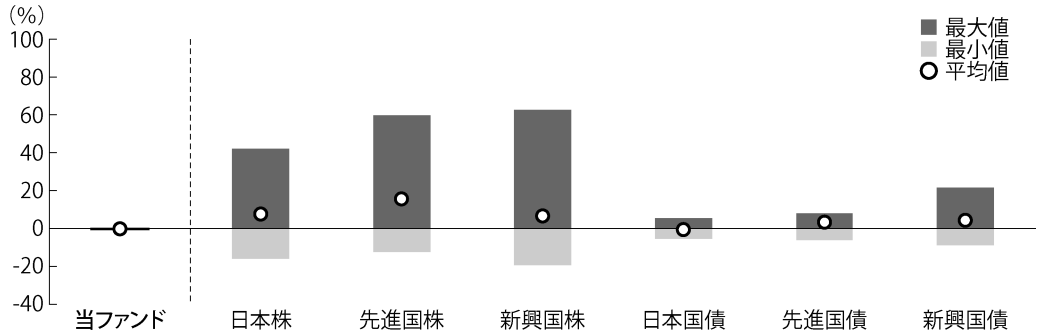
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.8	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	67.3	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△23.7	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当該ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。



## 【マネープールファンド（年2回決算型）】



### （当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（％））

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△0.1	7.6	15.4	6.6	△0.6	3.3	4.3
最大値	△0.1	42.1	59.8	62.7	5.4	8.0	21.5
最小値	△0.1	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

\*2018年12月～2023年11月の5年間に於ける年間騰落率の平均・最大・最小を、各ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

（注）先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）の指数値及びT O P I Xにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等T O P I Xに関するすべての権利・ノウハウ及びT O P I Xにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、T O P I Xの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「N F R C」といいます。）が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利はN F R C に帰属します。なお、N F R C はN O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

## ファンドデータ

### 【円コース（年2回決算型）】

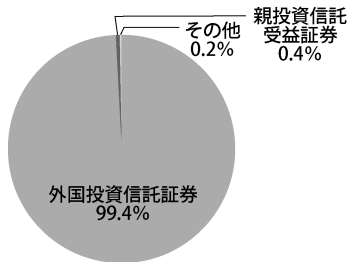
### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

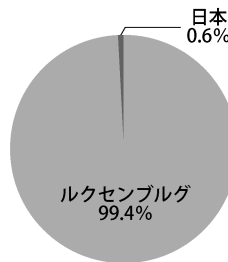
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（円）	99.4%
ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.4%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

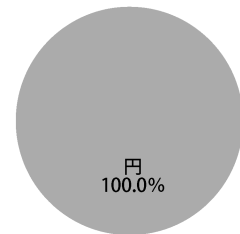
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	426,513,272円
受 益 権 総 口 数	209,328,238口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	20,375円

当期中における追加設定元本額は5,973,611円、同解約元本額は64,378,054円です。

## 【米ドルコース（年2回決算型）】

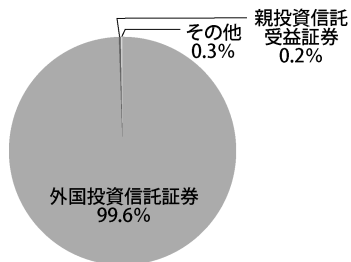
### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

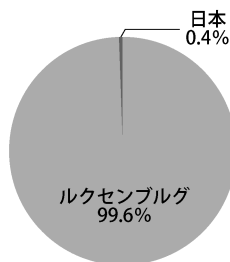
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（米ドル）	99.6%
ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.2%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

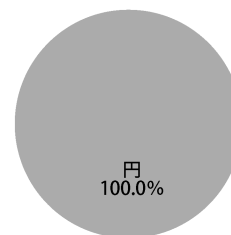
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	1,110,777,594円
受 益 権 総 口 数	295,113,269口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	37,639円

当期中における追加設定元本額は31,350,129円、同解約元本額は55,490,821円です。

【豪ドルコース（年2回決算型）】

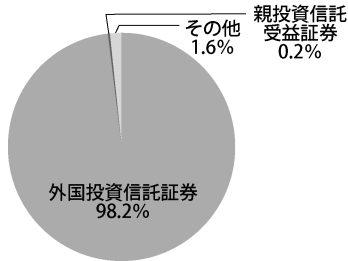
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

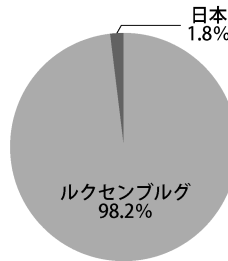
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
DWS RREEF グローバル・リアル・エーステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（豪ドル）	98.2%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.2%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

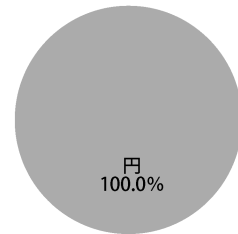
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	168,106,826円
受 益 権 総 口 数	58,285,731口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	28,842円

当期中における追加設定元本額は1,223,618円、同解約元本額は1,083,766円です。

## 【ブラジルリアルコース（年2回決算型）】

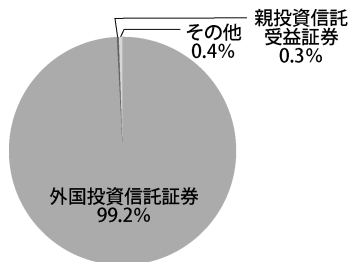
### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

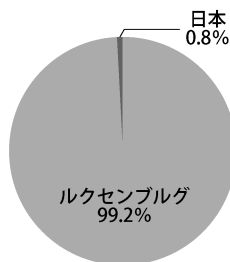
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（ブラジルリアル）	99.2%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.3%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

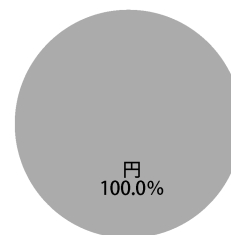
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	323,975,148円
受 益 権 総 口 数	115,221,046口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	28,118円

当期中における追加設定元本額は1,112,597円、同解約元本額は39,043,470円です。

## 【南アフリカランドコース（年2回決算型）】

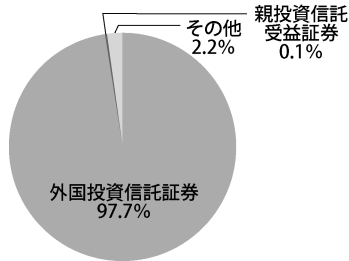
### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

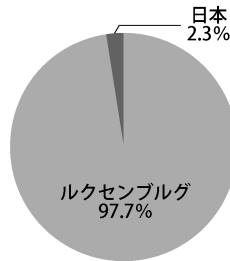
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（南アフリカランド）	97.7%
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

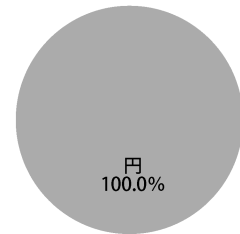
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	36,836,666円
受 益 権 総 口 数	14,276,422口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	25,802円

当期中における追加設定元本額は394,200円、同解約元本額は795,634円です。

## 【中国元コース（年2回決算型）】

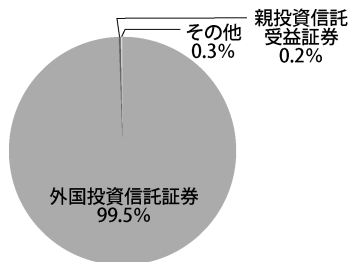
### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

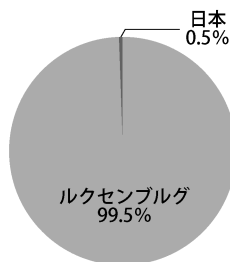
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（中国元）	99.5%
ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.2%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

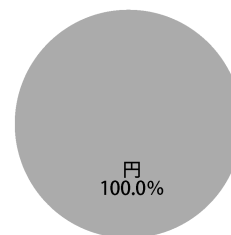
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	41,874,664円
受 益 権 総 口 数	9,712,049口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	43,116円

当期中における追加設定元本額は70,980円、同解約元本額は589,821円です。



## 【マネープールファンド（年2回決算型）】

### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

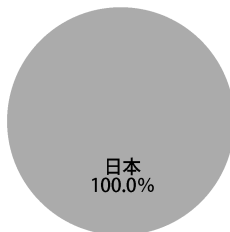
項 目	当 期 末
	2023年12月15日
ドイチェ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	100.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

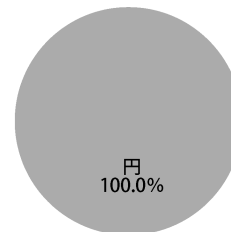
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項 目	当 期 末
	2023年12月15日
純 資 産 総 額	1,067,722円
受 益 権 総 口 数	1,072,044口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	9,960円

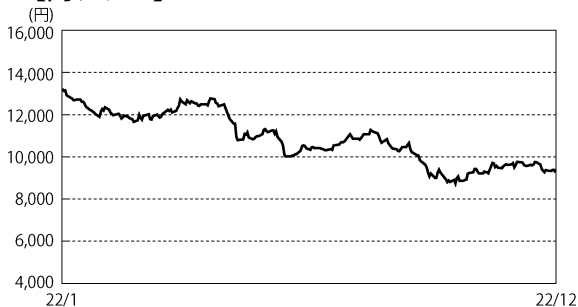
当期中における追加設定元本額は425,744円、同解約元本額は2,241,432円です。

## ■組入上位ファンドの概要

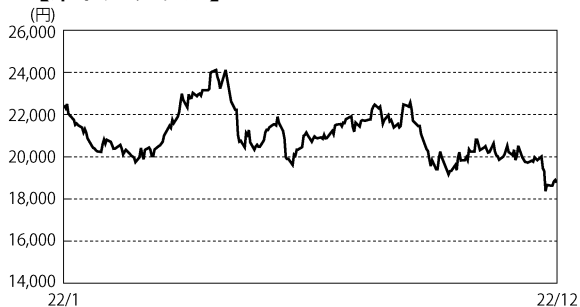
DWS RREEF グローバル・リアル・エステート・セキュリティーズ・マスター・ファンド（2022年1月1日～2022年12月31日）

### ◆基準価額の推移

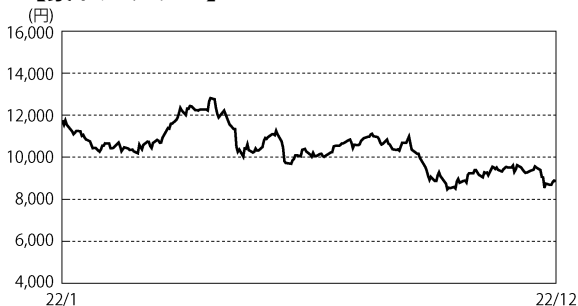
【円クラス】



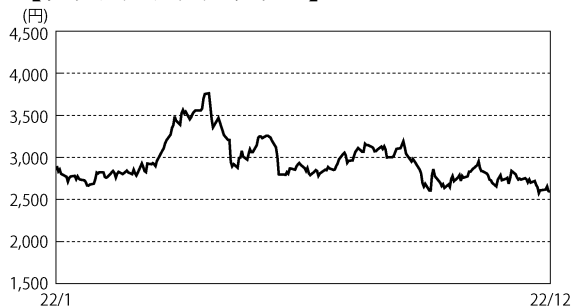
【米ドルクラス】



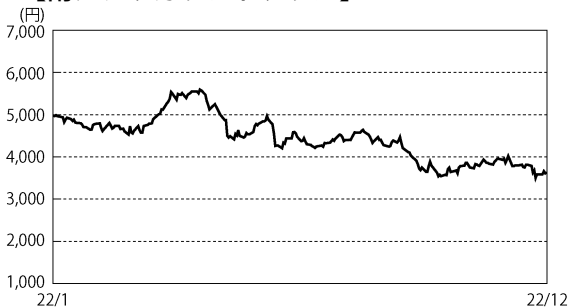
【豪ドルクラス】



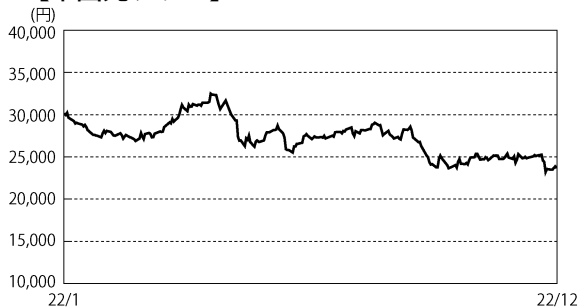
【ブラジルリアルクラス】



【南アフリカランドクラス】



【中国元クラス】



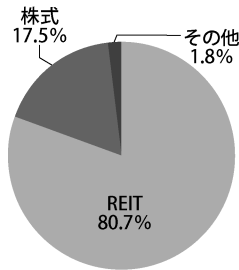
◆上位10銘柄

	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	Prologis, Inc.	アメリカ	米ドル	7.1%
2	Equinix, Inc.	アメリカ	米ドル	6.7%
3	Public Storage	アメリカ	米ドル	4.8%
4	AvalonBay Communities, Inc.	アメリカ	米ドル	4.4%
5	VICI Properties, Inc.	アメリカ	米ドル	4.2%
6	Mid-America Apartment Communities, Inc.	アメリカ	米ドル	3.8%
7	Ventas, Inc.	アメリカ	米ドル	3.6%
8	Simon Property Group, Inc.	アメリカ	米ドル	3.4%
9	Equity LifeStyle Properties, Inc.	アメリカ	米ドル	3.0%
10	Agree Realty Corp.	アメリカ	米ドル	2.9%
組入銘柄数		75銘柄		

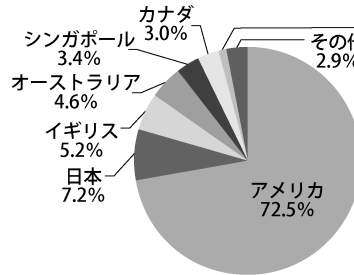
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

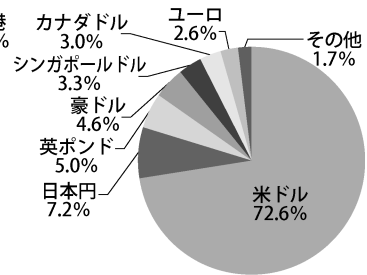
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

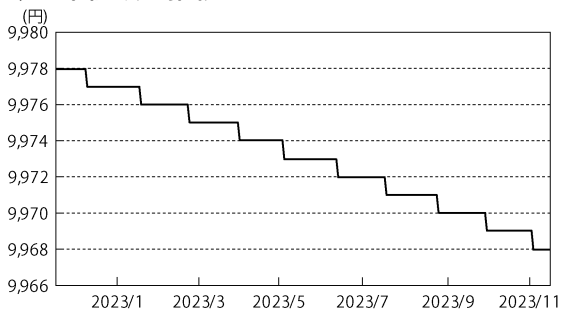
◆費用の明細

項目	
支払利息	△70,422.23米ドル
委託者報酬	△551,222.00
保管銀行費用	△4,085.76
監査費用、弁護士費用及び印刷費用	△12,842.48
申込税	△9,903.77
その他費用	△79,077.79
合計	△727,554.03

(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただきます。

ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド（2022年12月16日～2023年12月15日）

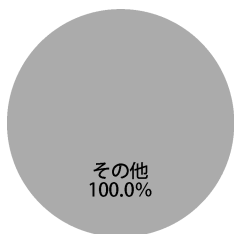
◆基準価額の推移



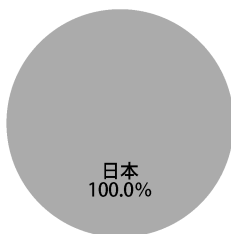
◆上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	比率
1	—	—	—	—
組入銘柄数			—	

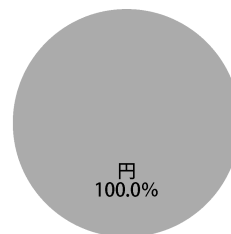
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。